

## 事業所における自己評価結果 (放デイ)

公表：令和 3年 月 日

事業所名： Cocomo

		チェック項目	はい	いいえ		課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4			学習スペースと遊ぶスペースのすみ分けを行っている
	②	職員の配置数は適切である	4			基準に沿って配置している。人数によっては、法人内の事業所と合同で活動する等工夫して対応している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1		利用児が快適に過ごせるように環境設定を行っている。
業務改善	④	業務改善を進める為のPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	3	1		月1回の定期的なミーティングで情報の共有を図ったり、振り返りを行う事で、すべきことの明確化にも繋がっている。
	⑤	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1		・アンケートの結果を見て、よりよい支援ができるように生かしている。 ・保護者の思いを大切にしながら、支援に繋げているが、難しさも感じる事がある。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			ホームページに公開している
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	1	第三者評価を実施していない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			・研修案内は朝礼で行った。 ・オンライン研修を受けたり、事業所内での研修を行った。
適切な支援の提	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			面談の方法も工夫しながら、困り感や希望を引き出せるように工夫している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図る為に、標準化されたアセスメントツールをしようしているか	4			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	2		スタッフ間で情報共有を図り、皆でアイデアを出すように心がけているが、特定のスタッフに負担がかかる事もあった。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			・利用児の伸ばしたいスキルや様々な面(身体、コミュニケーション、記憶系など)から活動計画を立てている。 ・過去のプログラムを確認し、利用児の状況に合わせて計画している。 ・様々な活動にチャレンジした。 ・活動がマンネリ化しないように工夫した。
						・ミーティングにて、流れをシミュレーションしながら計画してい

供	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定支援しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングで共通理解している。</li> <li>・その時のスタイルに合わせて、大切にしたい事も変更している。</li> </ul>
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・曜日ごとのグループ活動、小集団での活動、SSTやビジョントレーニングなど個別に合わせて対応している。</li> <li>・全体のバランスを考えながら計画している。</li> </ul>
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、朝礼にて活動報告をおこない、詳細については、それぞれに確認するようにしている。</li> </ul>
適切な支援の提供	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録記入しながら、情報の共有を図れるようにしている。</li> <li>・緊急性がある時には必ずその日に話し合っている。</li> <li>・可能な限り、その日の内に共有できるようにしている。</li> </ul>
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の支援状況について必ず記録に残している。</li> </ul>
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員間で共有できるようにしている。</li> </ul>
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	4			
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・児発菅が対応している。</li> </ul>
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)連絡調整(送迎の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時に直接顔を合わせて、情報の共有を図っている。</li> <li>・利用児の状況で気になる様子がある時には、ご家族を通じたり、直接伝えるなどして対応できている。</li> </ul>
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか	2	1	1	該当児なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年が上がると、就学前の保育園等との連携はないが、並行利用している事業所間では情報の共有を図れるようにしている。</li> </ul>
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	1		該当児なし
関係	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所としての研修は実施していないが、個別に必要な情報は得ている。</li> <li>・検査結果のデータを活動に生かすようにしている。</li> </ul>
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動	4			<ul style="list-style-type: none"> <li>・法人内の児童クラブとの交流を定期的に行っている。</li> </ul>

機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②6	する機会があるか	4			・保護者の対応力の向上を図っている。
	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4			・担当職員が参加している。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			・保護者のお迎え時に利用時の状況は丁寧に伝えている。その際に、ご家族の困り感を聞くこともあり、個別に対応できるようにしている。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4			・年に1~2回は設定したいが、コロナの影響もあり、十分に実施できなかった。状況に合わせて計画していく。 ・トラブルがあった時や、ご家族からの訴えがあった時には、裏付けや対応の仕方等をお伝えしている。
	③0	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている。	4			契約時に行っている。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている。	4			丁寧に対応できるようにしている。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している。	2	2		父母の会の設立はないが、親子通園や学びの時間を設けられるように計画している。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備すると共に、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している。	4			現時点で苦情等は届いていない
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している。	4			毎月、写真も交えて、活動報告や、子育てのヒントなどを掲載して発行している。
	③5	個人情報の取り扱いに十分注意している。	4			処分する際は、シュレッターにかけるなど配慮している
	③6	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達の為の配慮をしている。	4			ひとりひとりの気持ちを汲み取れるように心がけて支援している。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている。	1	3		コロナの状況に合わせて計画している。
	非 常 時 の 対 応	③8	緊急時の対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している。	3	1	
③9		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている。	4			主に長期休暇を利用して実施。実際に地震速報時も落ち着いて対応する事ができた。
④0		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている。	3	1		
④1		ヒヤリハット事例集を作成して、事	2	1		ヒヤリハットの記録用紙はあるが、活用できていない。

心	㉔	業所内で共有している。				口頭やミーティングで共有する事が多い。
	④②	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている。	4			年に1回研修実施
	④③	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している。	3	1		契約時に説明している